



令和5年  
4月

# 学校だより

NO.1 令和5年4月10日  
さいたま市立美園北小学校  
TEL 048(812)2277  
<https://misonokita-e.saitama-city.ed.jp/>

ゴールを想い描きスタートする

校長 佐藤 利春

## 「校長先生。そうだんにのっってもらっていいですか？」

先月、3月7日のことです。いつもの通り、正門で児童の登校を迎えていると、低学年の子が私に声をかけてきました。見ると、大きめの付箋にびっしり書いたメモをぎゅっと握りしめています。「もちろんです。どうぞ。」と、返事をして聴きました。少し緊張しながら、メモを見ながら、ときどき私の顔を見上げながら話してくれました。「担任の先生にお礼のサプライズをしたいです。クラスみんなと相談したいのだけど、先生はいつも、休み時間もぼくたちと一緒にだから難しいのです。ぼくたちだけで、担任の先生に秘密で相談したいのだけど、どうしたらいいですか？」およそ、このような内容でした。「よし！それなら一芝居うとう！」ということにしました。正門での迎えを終え、いつものルートで教室を周ります。対象の教室に入り、対象の担任に伝え、「みんな。申し訳ないけど、お話があるから、1時間目の休み時間に先生を校長室につれていっていい？しかるんじゃないから心配しないでね。」子どもたちの快諾を得、作戦を実行しました。5時間目に教室周りをしたときに廊下からその子にサインを送ると、笑顔でうなずきました。3月23日にサプライズ企画大成功を収めたそうです。2月中旬、給食の時間に「サプライズができる人はすばらしい！」と全校放送をしたことがありました。そこから、“サプライズ”のことばを使ったのかと思うと、さらに、低学年にして“担任の先生への感謝を表したい” “みんなに声をかけて進めたい”を、勇気を振り絞り実行したこと、感激しました。

昨年度1年間。この子のように、自分の中のよさ(私は“天使”と呼んでいます。)を成長させ、発出し、大きくしていった子をたくさん見てきました。しあわせな令和4年度のゴールを経験しました。

## Mela!

♪今なんじゃない？ メラメラとたぎれ 眠っているだけの正義 こんな僕も君のヒーローに なりたいのさ♪  
緑黄色社会の曲です。歌詞を私なりに解釈します。「いつもかっこいいと思っていた“君”が悩み苦勞している。これまで、助けてもらい、勇気を与えてもらっていたばかりの“僕”だったが、眠っていた正義をメラメラとたぎらせ、“僕”は“君”のヒーローになる。」これが、上記、美園北小学校の子どもたちの姿に合致し、3月24日 R4ゴール以来、“Mela!”をエンドレスリピートで聴いています。

## その人の“よさ”(天使)にだけフォーカスするコミュニケーション

4月3日新スタッフを迎え、令和5年度美園北小学校を始動しました。私は、一番初めの会議で全スタッフに向け45分ほどのプレゼンをすることになっています。仕事に対するスタンス・技術的なこと・組織として等を話しますが、根底にあるコンセプトが、【その人の“よさ”(天使)にだけフォーカスするコミュニケーション】です。これは、私自身が絶対としているコミュニケーションの姿勢です。【その人】の対象は、職員・児童・保護者・地域・業者等々すべての人です。その人をよく観察し、その人の天使を見つけます。その人の天使に学び、感謝し、できることであれば、天使がのびのびと大きく育っていくように関わらせていただきます。児童等の場合、教え込んだり、しつかけたり、時には、しかったりすることも必要です。それらも、その人の天使が気づき、自らより大きくなっていくためのプロセスであり、単なる方法であり、目的ではありません。美園北小全スタッフに対して、「私はみなさんの天使だけにフォーカスします。思い切って、ご自身のよさを発揮・発出・伸長することに集中してください。また、みなさんご自身の子どもたちに対するスタンスも同様です。一人ひとりのよさを膨らませ、重なり合わせ、子どもたちのためにがんばりましょう。」と話し、新年度をスタートしました。

## 令和6年3月22日・26日

この1年、子どもたちが自身の新たな天使に気づき、メラメラとたぎらせ、発出し、天使を大きくしていくプロセスを楽しみにしています。スタートにあたり、大きく成長した子どもたち、美園北小学校に関わる人たちの膨らんだしあわせ、ゴールを想い描いています。

本稿は、4月6日午前中、職員室で書いています。全スタッフ、笑顔にあふれ、活気に満ち子どもたちを迎えるための準備に励んでいます。4月10日子どもたちの様子を思い浮かべつつ、目の前の職員の姿に、しあわせを感じながら本稿を仕上げます。新1年生・転入を含めた保護者の皆様、地域の皆様、本年度もどうぞお力添えのほどよろしくお願いいたします。